警　告

今般鐘ヶ淵紡績株式會社が斷行したる從業員の賃銀引下げは、全解禁及び世界的不景氣の爆発を、たゞさへ生活苦にあへぐ勞働者の頭上にのみ轉嫁せんとする強盜極る所爲である。　吾国紡績業者は、眼前には猛烈なる輿論の反対を排して、綿製品輸入税の存續をはかり、次で操業短縮を決行し、多數の失業者を街頭に投げ出し、今亦同業者中の最強大を誇る鐘紡を先頭に立て、減給を以て吾等勞働者の生活を脅威してゐる。而も之は斷じて、單に紡績産業のみの現象ではない。　今や全国に百數十万の失業者が飢に泣き、數百万の産業者が不景氣と生活苦にあへゐでゐる。

この時政府当局は吾等産業階級のため何を爲したか、　産業合理化の名の下に、資本家と收力して産業階級と戰つたもの、　之今日の政治ではないか、　吾等は一錢銭の減給問題についても、現政府の経済、社会政策の破綻を認め、その責任を問ふものである。　政府並に当局は失業問題、減給問題を初めとし万般の勞働者、農民一般　産業階級の生活問題に対し速に産業階級本意の対策を樹てられんことを望むものである。

今や樓閣なる鐘紡に対して憤激したる全國の会社工場は、悉に起つて